

当センターの森祐太郎先生、大学院生の岩田樂久さん（医学学位プログラム）、
当院看護部の篠澤彩耶伽さんが第 22 回茨城放射線腫瘍研究会において
優秀演題賞を受賞

2026 年 2 月 28 日につくば国際会議場（茨城県つくば市）にて開催された、第 22 回茨城放射線腫瘍研究会において、当センターの森祐太郎先生（准教授）、熊田博明先生が研究指導をしている大学院生の岩田樂久さん、当院看護部の篠澤彩耶伽さんが優秀演題賞を受賞しました。

本賞は、優れた研究を発表した演者に対して贈られるものです。

発表演題

『パッシブ陽子線からスキャニングへ：施設更新で見た利点と課題』

筑波大学医学医療系 准教授

森 祐太郎



発表演題

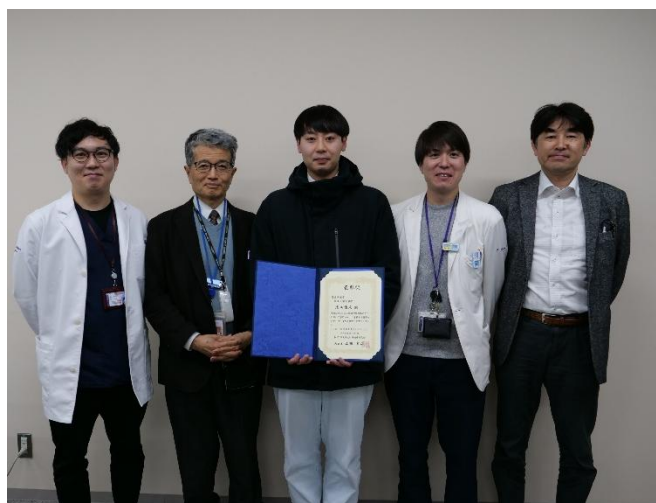
『モンテカルロ計算コード PHITS を用いた独立計算検証による陽子線治療の患者 QA 業務効率向上の検討』

筑波大学大学院 人間総合科学学術院

人間総合科学研究群

医学学位プログラム 2 年

岩田 樂久



発表演題

『中下咽頭・喉頭癌 IMRT における味蓄線量と味覚障害の用量反応関係』

筑波大学附属病院 看護部

篠澤 彩耶伽



筑波大学附属病院 陽子線治療センター